

平成 28 年 8 月 23 日

研究公開用文書

研究名： ヒト血清中における微量抗ウイルス抗体の検出
研究の概要： ヒト感染症の確定診断では、主に PCR 法による病原体由来核酸の検出と併せて血清学的検査による抗体測定を行うことが有用である。しかし、病原体由来抗原の作製が難しいことから血清学的検査が可能な病原体も限られている。本研究では、血清学的検査がほとんど活用されておらず原因病原体の特定が困難な脳炎・脳症関連に焦点をあて、これらの原因と考えられる病原体由来抗原タンパク質を選出、作製、アレイ化し、血清中の複数の抗ウイルス抗体を検出することができるデータ解析法の開発および血清学的診断法の構築を目指す。なお、本研究課題では、本学先端医科学研究センターのバイオバンクが有するヒト健常者血清を用いて、本検査法の信頼性および妥当性について検証するとともに、今後の実用化に向けた技術基盤開発を行う。
研究対象： 本学、先端医科学研究センターバイオバンク室が保有する約 400 名の健常者血清
研究責任者： (医学部・附属病院・附属市民総合医療センター) 所属：分子生体防御学 氏名：梁 明秀
研究実施期間： 許可日 ～ 平成 33 年 3 月 31 日
連絡先： 横浜市立大学 (医学部・附属病院・附属市民総合医療センター) 所属：分子生体防御学 氏名：梁 明秀 〒：236-0004 住所：横浜市金沢区福浦 3-9 電話：045-787-2601

情報公開用文書

西暦 2020 年 6 月 4 日作成

研究課題名	ヒト血清中における微量抗ウイルス抗体の検出
研究の対象	本学、先端医科学研究センターバイオバンク室が保有する約 1400 名の健常者血清を対象とします。(同一人の経年検体を含む)
バイオバンクから提供する検体	健常者血清 1400 検体 (2015-2018 年採取)
研究目的・方法	ヒト感染症の確定診断では、主に PCR 法による病原体由来核酸の検出と併せて血清学的検査による抗体測定を行うことが有用です。しかし、病原体由来抗原の作製が難しいことから血清学的検査が可能な病原体も限られています。本研究では、新型コロナウイルス SARS-CoV-2 を含む複数の病原ウイルスに対する血清中の抗体を検出することができる解析法および血清学的診断法の構築を目指します。AIA-CL2400、ELISA 法、プロテインアクティブアレイ及びイムノクロマト法を用いて、新型コロナウイルス SARS-CoV-2 および関連ウイルスの血清中の抗体価を測定します。
研究期間	2016 年 9 月 15 日 ~ 2021 年 3 月 31 日
研究に用いる試料・情報の種類	バイオバンク室が保有する健常者血清を用いて複数のウイルスに対する抗体価を測定します。 臨床情報として、年齢、性別、感染症情報を用います。
バイオバンクから提供する情報の種類	年齢、性別、試料採取日
問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 横浜市立大学先端医科学研究センター内 バイオバンク室 電話：045-787-2592 メール：sentanbb@yokohama-cu.ac.jp	